

【NEWS RELEASE】

2019年3月14日

各 位

株式会社三井住友銀行

グリーンボンド投資を用途とするシンジケートローンの取扱開始について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、お客さまの ESG（ 1）/SDGs（ 2）への取組サポート並びに債券及びローン市場における ESG 金融の普及促進を目的として、お客さまが発行するグリーンボンド（ 3）への投資を用途とするシンジケート・ローンの取扱を開始しました。

本件スキームは、お客さまが発行するグリーンボンドを、ローン形式での投資を希望する幅広い層の機関投資家向けに提供するために、信託機能とシンジケート・ローン・マーケットを活用し、当該グリーンボンドを裏付資産とするシンジケーション形式の信託 ABL（Asset Backed Loan）（ 4）を、三井住友銀行がアレンジャー兼エージェントとして組成するものです。

なお、第一号案件として、地域金融機関向けに東証一部上場のお客さまが発行するグリーンボンドに投資する責任財産限定特約付シンジケート・ローンを、2019年3月に組成する予定です。本グリーンボンドは、株式会社日本総合研究所（代表取締役：淵崎 正弘）が適格性に関する第三者評価を行い、本第三者評価の取得については、環境省のグリーンボンド発行促進体制整備支援事業（ 5）の補助金交付対象となる予定です。

持続可能な社会の実現に向けて、ESG/SDGs への取組がお客さまにとって重要な経営課題となり、投資家も ESG を投資判断として加味した ESG 投資を拡大させている中、三井住友銀行では、本業を通じ、お客さまの ESG/SDGs への取組や ESG 投資の活性化を積極的にサポートし、持続可能な社会および市場の形成に一層貢献を行ってまいります。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。

1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで、

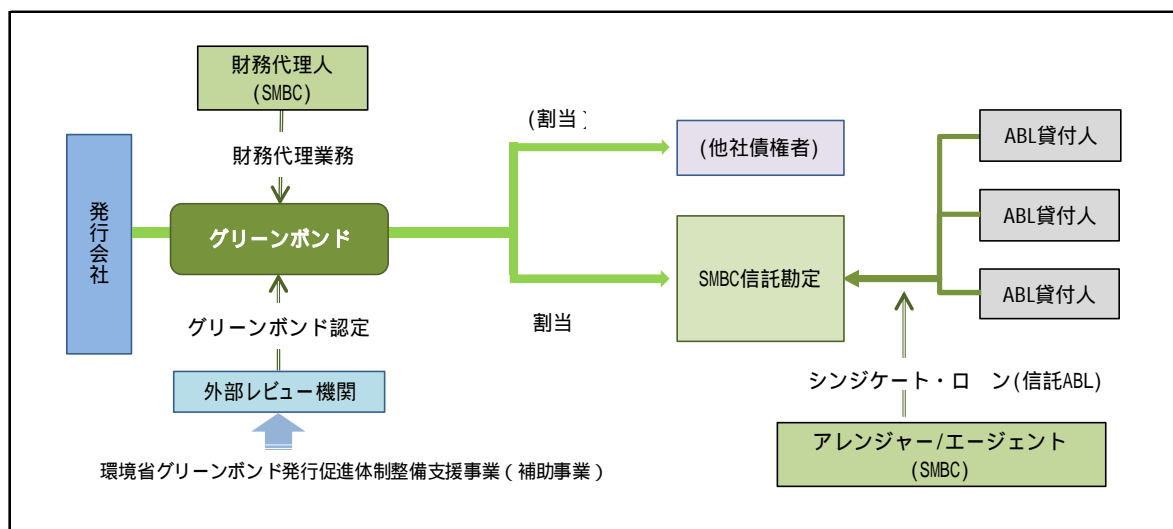
3 グリーンボンドとは

企業や地方公共団体等が、グリーンプロジェクト（環境改善効果がある事業であり、再生可能エネルギー事業、省エネ建築物の建設・改修、環境汚染の防止・管理など）に要する資金を調達するために発行する債券です。

4 信託ABL（Asset Backed Loan）

信用力やキャッシュフローの裏付がある金銭債権や不動産等への投資をローン形式で行いたい機関投資家のニーズに応えるため、銀行や証券会社等が信託機能を活用して組成する資産担保ローンです。

<スキーム図>



5 グリーンボンド発行促進体制整備支援事業

グリーンボンドを発行しようとする企業や自治体などに対して、外部レビューの付与、グリーンボンドフレームワーク整備のコンサルティング等により支援を行う発行支援者に対して、その支援に要する費用を補助する環境省の制度です。